



行政長官選挙 李家超氏当選

1. 行政長官選挙 李家超氏当選

2022年5月8日、政府トップの行政長官の選挙が行われ、唯一の候補者だった李家超（ジョン・リー）前政務長官が当選を決めました。

5年に1度行われる香港の行政長官選挙には、警察出身で政府ナンバー2の政務長官を務め、中国政府の支持を受けた李家超氏がただ1人立候補しました。行政長官選挙は、一般の市民ではなく、議会の議員や金融、商業などの業界から選ばれた現在1461人いる選挙委員によって行われますが、今回は、立候補が李氏のみだったため、李氏を支持するかどうかを問う信任投票の形式で行われました。その結果、李氏が1416票という圧倒的多数の信任を得て、当選しました。

李氏は中国国務院（中央政府）の任命を受け、7月1日に行政長官に就任します。

2. 新型コロナウイルス対策の制限緩和及び入境者の臨時ワクチンパスについて

(1) 第2段階の制限緩和が前倒し

香港政府は2022年1月以後に発生した新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい行動・営業制限を行ってきましたが、新規感染者数が大幅に減少してきていることから、行動・営業制限の第2段階の緩和を一部前倒しで行いました。具体的な実施日及び緩和内容は以下の通りです。

	実施日	緩和内容
第2段階	5月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・1テーブル当たりの着席可能人数は8人 ・公共プール、ビーチ、水上娯楽施設の再開 ・屋外での運動（ハイキング、スポーツなど）時のマスク着用不要
	5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗内飲食は午前0時まで ・120人を超えない宴会の実施（これまでは20人まで） ・バー、公衆浴場、パーティールーム、ナイトクラブ、カラオケ、マージャン店の再開 ・クルーズ船ツアーの再開 ・映画館、劇場、博物館などの収容人数は定員の85%まで ・屋内での運動時のマスク着用不要
第3段階	未定	全ての営業制限の撤廃



(2) 臨時ワクチンパスの発行について

香港政府は 2022 年 5 月 4 日、新型コロナウイルスのワクチン接種を済ませた人にもみ商業・娯楽施設などの利用を認める「ワクチンパス」制度で、香港域外からの入境者に「臨時ワクチンパス」を発行すると発表しました。臨時ワクチンパスの有効期間は到着日から 180 日間で、その期間を超える滞在の場合は香港で追加接種を受ける必要があります。

入境者は通常、海外で 2 回のワクチン接種を終えた状態で香港に入りますが、香港のワクチンパス制度は 5 月末に第 3 段階へ移行し、3 回接種が義務付けられるようになることから、海外で 2 回しか接種を受けていない入境者が香港での行動に不便が生じないようにするものです。

2022 年 5 月 5 日から強制隔離の対象となる入境者には、到着時の入境管理でワクチン接種記録の QR コード及び臨時ワクチンパスが発行され、強制検疫の対象ではない入境者やすでに域内にいる方は 18 か所の指定郵便局で臨時ワクチンパスを取得することができます。

フェアコンサルティング香港

(Fair Consulting Hong Kong Co., Limited)

香港九龍海港城海洋中心 16 樓 1629A-30 室

電話：+852-2156-9698

担当：山口 (YAMAGUCHI) 日本国公認会計士

ka.yamaguchi@faircongrp.com

「FCG 中華圏 ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。